

この取扱説明書をよく読んでご使用ください。取扱説明書は大切に保管して下さい。  
本器は理化学機器です。一般の方はご使用できません。本器は水溶液を攪拌子を使って 1～4 個、同時に攪拌するための装置です。水溶液の種類、量によって攪拌の状態が変わりますので、攪拌を各々の回転調節つまみで調節して使用します。強力なフェライト磁石を使用しております。①の回転数がデジタル表示されます。それに合わせて残りの箇所を調整すると、その実験の回転数が把握できます。

#### 仕 様

攪拌容量	50mL～2L×4（水、ビーカーで付属の攪拌子使用の場合）
回転数	約 200～約 2000rpm
モーター	限取×4、位相制御・電磁ブレーキ併用
電源	AC100V,50/60Hz,2A 三芯接地プラグ付電源コード
使用環境	温度 5～35℃ 湿度 80%以内
攪拌台寸法	300×315mm SUS304
外形寸法・重量	W306×D335×H90mm・5kg
付属品	30mm 攪拌子×4

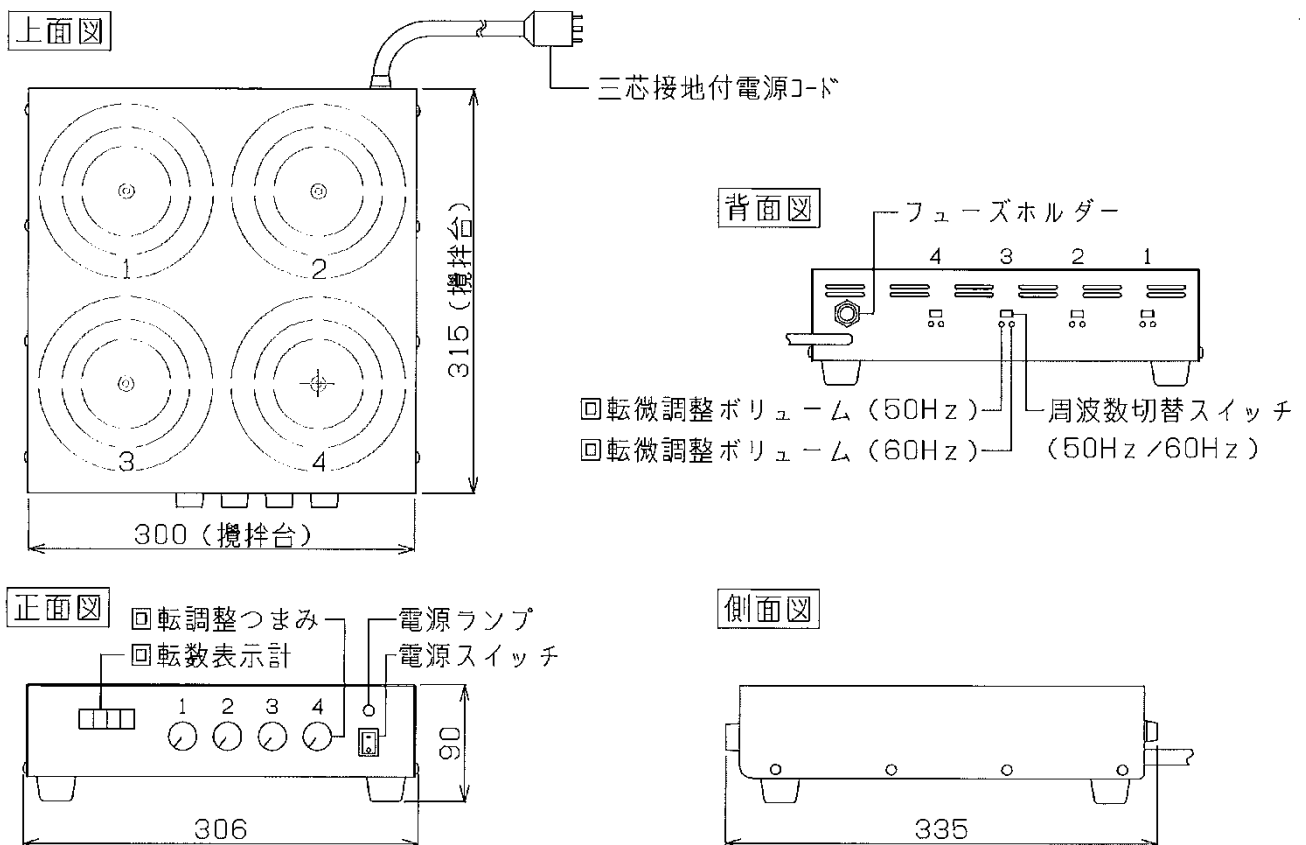
#### 安全のための注意事項

- 防爆型ではありません。引火性、爆発性のあるガスの雰囲気中では、絶対に使用しないでください。火災、爆発の原因となります。
- 電源は AC100V,2A 以上とれるコンセントに直接差し込んでください。三芯接地付コンセントがない場合も、必ずアースを接続してください。
- 接地アダプターの使用はプラグの緩み等による過電流で火災等、事故の原因になる場合がありますのでお避けください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。過熱、火災の原因になります。
- 強磁力（フェライト）に注意して下さい。時計、計測器等は近くにおかないでください。
- 水平に設置し、側面、背面は 15cm 以上の間隔を空けてください。
- 回転を上げるときは徐々に上げてください。急激に回転をあげると攪拌子が飛び、容器が破損することがあります。
- 電装部に水溶液がかからないようにしてください。腐食、電装部の故障、特に漏電の原因となります。
- 使用環境の範囲を越えて使用しますと動作不良、故障の原因となります。
- 使用しないときは、必ず電源コードを抜いて保管してください。
- 雷が鳴り始めたら、電源スイッチ、元電源を切ってください。
- 装置を分解・改造しないでください。漏電、感電、異常動作、火災等の事故の原因となります。

## 使用方法

1. 背面の周波数切替スイッチを使用する周波数にあわせます。
2. 電源スイッチおよび4個の回転調整つまみの MIN.を確認し電源コードを AC100V 三芯接地付コンセントに差し込みます。
3. 付属の攪拌子を静かに容器に入れ、攪拌台の各々の番号の中央に置きます。(攪拌台の印刷は強く擦ったり、摩耗したりした場合は薄くなったり、はげる可能性があります。)
4. 電源スイッチを入れると、電源ランプが点灯します。
5. それぞれの回転調整つまみを時計方向に回して必要な回転に調整します。  
①の攪拌を調整後、その攪拌状態を見ながら、②～④の攪拌の調整を行いますと、均一な攪拌と回転数の目安を測定できます。
6. 微調整の仕方：背面のスピード調節ボリュームを絶縁型の（－）ドライバーで注意深く回すことにより最低回転数を調整することができます。各周波数側のボリュームで調整してください。間違えると回転の調整が取れなくなる場合があります。出荷時に一応の調整がしてありますが、モーターの特性、電圧等によりバラツキの生じることもありますので、微妙な回転を必要とされる場合、調整をしてください。
7. 使用后、必ず電源のOFFを確認し、電源コードを抜いて保管してください。

## 機能説明図



## 保証・故障・修理

1. 通常の使用における故障については、お買い上げ後一年間無償保証します。  
印刷の汚れ、剥がれ、外装の傷等、また、落下による破損、消耗品の交換等については、保証いたしかねますのでご了承ください。
2. 使用中、異常が発生した場合直ちに運転を中止し、販売店にご連絡ください。  
製造番号もあわせてご連絡ください。